

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 17日

事業所名 レインボー・キッズ・クラブ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		療育中はパーティションで仕切る等しながら、落ち着いた空間をつくっています。	子ども達の利用状況に応じてスペースを確保していきます。
	2	職員の配置数は適切である	3		利用人数に応じて、個別でじっくりと関わられる人数配置を行っています。	子ども達の状況に応じて、適切な職員の配置を行っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		3	子ども達が見て分かりやすいように、絵カード等掲示したり、絨毯を敷いて転倒防止をしています。	子ども達の発達状況に応じて、絵カードやバリアフリー化を今後も検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		各活動の委員会を定め、月に一度目標設定・評価を行い、改善に努め、職員会議にて情報共有を行っています。	今後も継続し、業務改善に努めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		保護者に対し事業所の評価を実施し、その結果を職員全員に周知しています。	評価表の結果を真摯に受け止め、改善に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3		ホームページを随時更新しています。	事業所の自己評価を行い、改善内容をホームページにて公開を行います。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		3	現時点で行っていません。	今後の課題として、検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		研修には随時参加しています。	研修に参加し、自己研鑽に努めます。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		アセスメントを行い、ニーズや課題等を客観的に分析し、作成しています。	今後も継続して行っていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	2	標準化し、独自に作成しています。	今後も継続して行っていきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		各活動を委員と称して、職員を割り当て、行っています。	今後も継続して行っていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		固定化しないように、月に一度評価反省を行い、改善に努めています。	今後も継続し、固定化しないように、日々改善に努めます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3		決まったスケジュールをただこなすだけでなく、イベントや決められた時間内で出来る事を出来るだけ多く取り入れています。	今後も継続して行っていきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3		毎日の中で、個別活動と集団活動を計画し、実施しています。	今後も継続して行っていきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		毎日のシフトにより役割分担を行い、ミーティングを必ず行っています。	毎日のミーティングにて、業務等の確認を行います。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		毎日のミーティングにて、職員間での情報共有を行っています。又、重要事項は教務日誌に記録し、申し込みを行っています。	毎日のミーティングにて、情報共有を行い、翌日に繋げられるようにしていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3		支援経過を元に記録を付け、次に繋げられるように取り組んでいます。	日々の記録に努め、支援の検証・改善を随時行っていきます。
18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3		半年に一回はモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを行っています。	今後も継続して行っていきます。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2		基本活動を組み合わせで行っています。	今後も継続して行っていきます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		児童発達支援管理責任者が参画しています。	今後も継続して行っていきます。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3		行事や下校時間等は毎月書面にて貰っている。おこほも、何かあればその都度情報共有は行っています。	今後も継続して行っていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	2	保護者を通じて連絡体制を図っています。	今後必要時は、主治医との連携をとっていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3		必要時は連携を図り、情報共有を行っています。	今後も必要時には情報共有や相互理解を図っていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		3	該当者がいません。	今後、対象者に対しては情報提供を行います。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		必要機関と連携をとっています。	今後も研修等に参加し、情報交換に努めます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	現時点で実施していません。	今後色々な交流の場を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1	2	現時点で参加していません。	今後機会があれば参加していきたいです。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		送迎時や連絡ノートを用いて、保護者とコミュニケーションを図っています。	今後も保護者とコミュニケーションを図り、共通理解をもって支援していきます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	1	2	現時点で行っていません。	今後の課題として、検討していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	2	1	契約時に説明を行っています。	今後も契約時に説明を徹底して行います。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		相談があった場合は、適切に対応するように心掛けています。	今後も保護者からの相談等に、適切に対応し、助言や支援を行っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	年に一度懇談会兼保護者会を開催しています。	今後、懇談会以外に保護者同士の交流の場を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3		相談があった際には、速やかに対応しています。必要機関との連絡を行っています。	今後も、相談や申し入れに対して速やかに適切な対応を行い、必要時は他機関との連携も行っていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3		毎月、新聞を発行しています。	今後も毎月の新聞作成・発行を行います。
	35	個人情報に十分注意している	3		秘密厳守を徹底しています。	今一度契約書類等を再確認し、個人情報についての取り扱いに注意していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		連絡ノートを用いて、あるいは送迎時に直接お話しします。	今後も連絡ノートや送迎時にコミュニケーションを図り、意志の疎通や情報伝達をしていきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	3		年に一度、地域の方を招待し、交流活動を開催しています。	今後も地域交流の活動を検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	2	契約時にマニュアルの説明を行っています。	今後も職員に周知を徹底し、契約時に保護者に周知を行います。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		月に一度、地震・火災・水害・不審者等様々な災害を想定した避難訓練を行っています。	避難訓練をする中で、職員間で反省点等を受け、改善できるところは改善に努めます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	1	2	定期的に研修に参加しています。	研修会を確保し、虐待防止に努めます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	2	該当者がいません。	今後、必要時は保護者と十分に話し合い、対応させていただきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	アレルギーの子に関しては、除去を徹底しています。	今後もアレルギーの子に対しての除去と事故防止に努めます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3		職員会議にて、怪我や事故、危険だと感じた事を職員間で出し合い、対応や対策を話し合っています。	今後も職員全員で共有していきます。